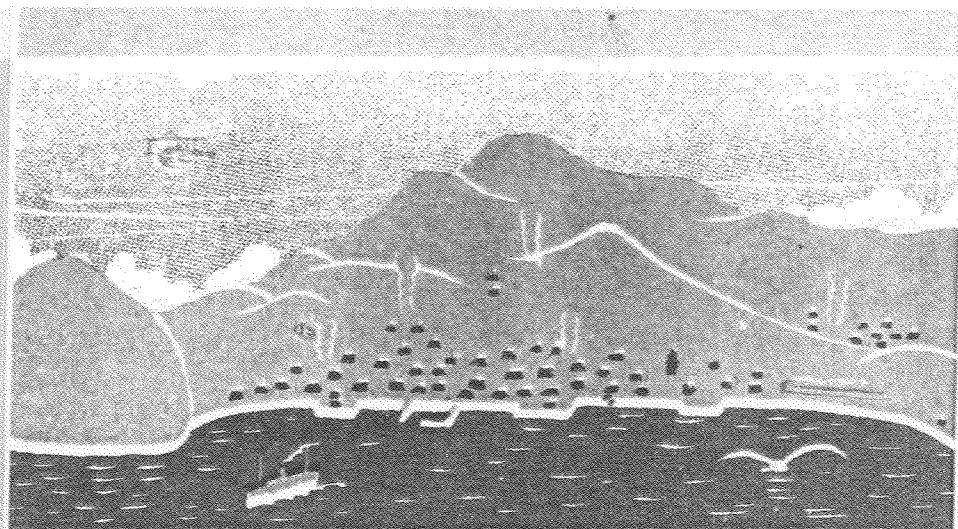
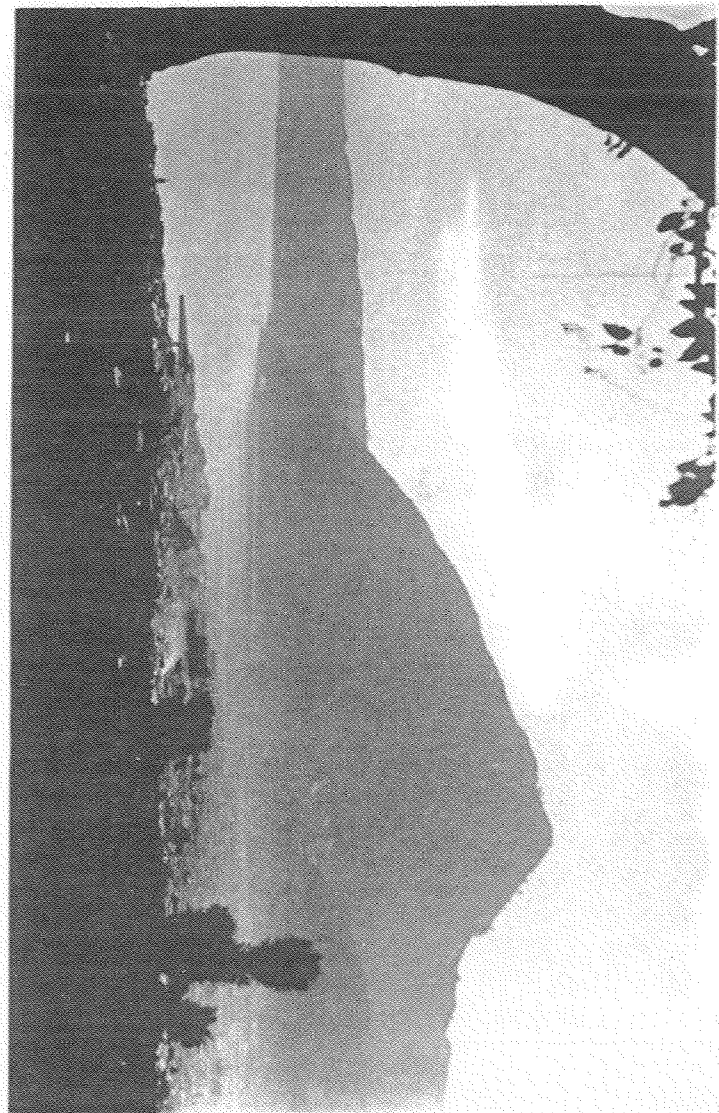




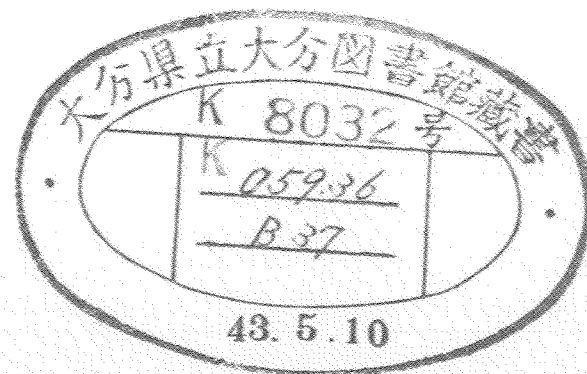
別府市勢要覽

昭和六年調製

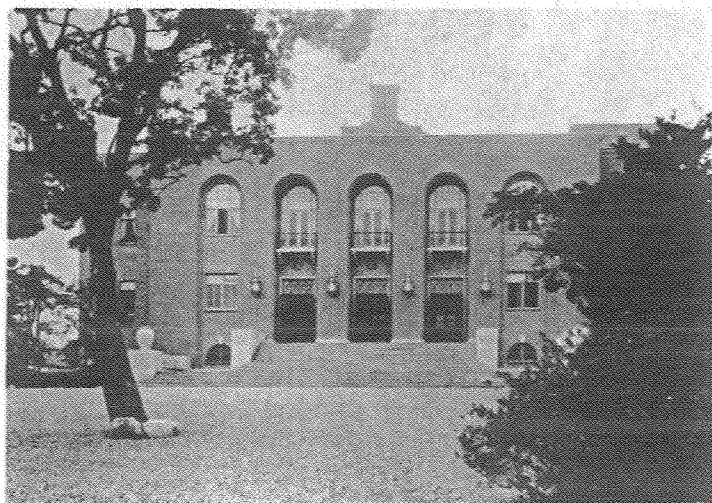
別府市役所



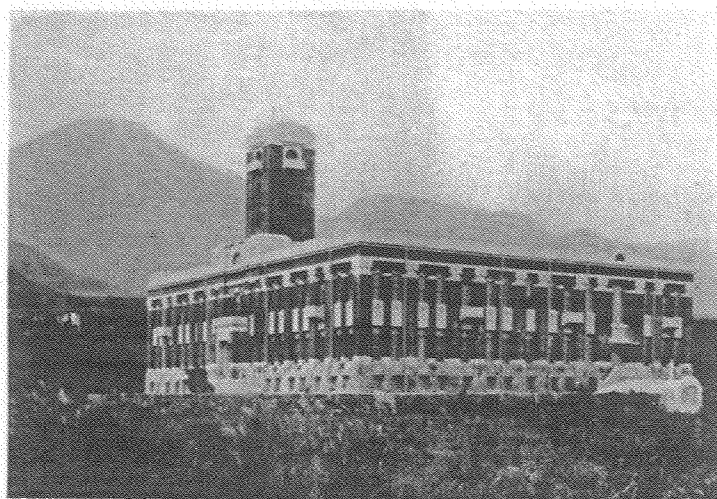
禁帶出



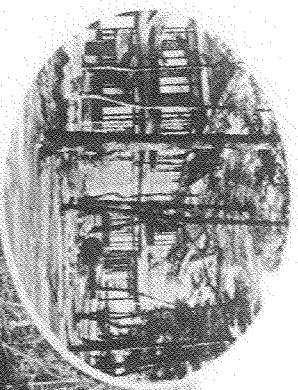
059.36
B 37



別府市公會堂



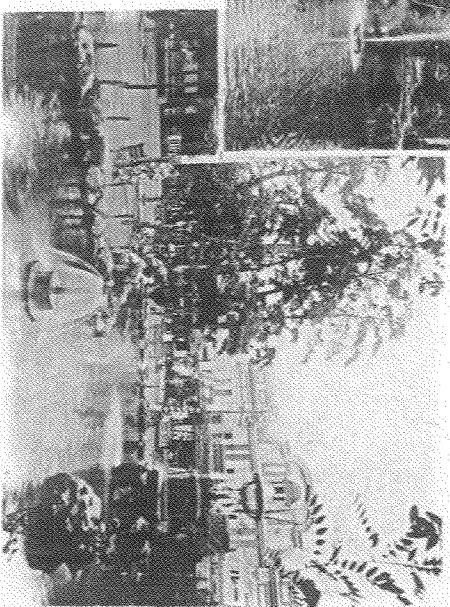
京都帝國大學地球物理學研究所



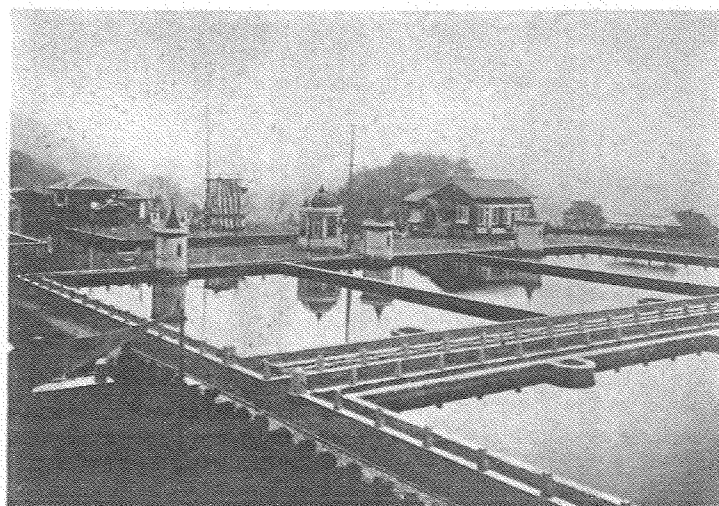
大分縣府陳列所



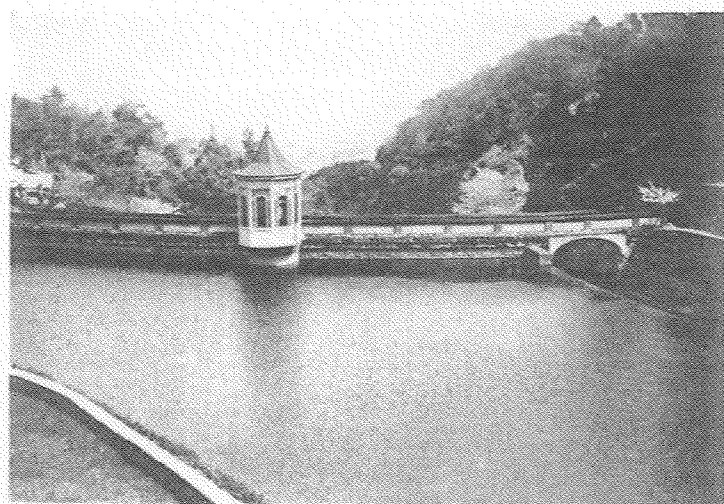
別府公園



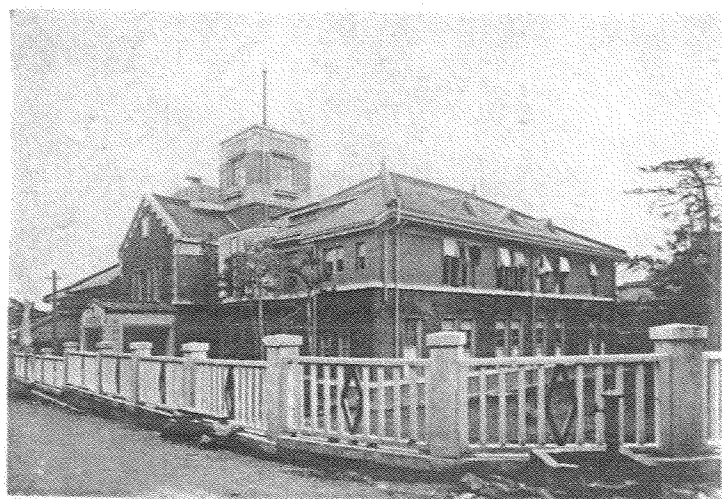
松原公園



別府市水道貯水池



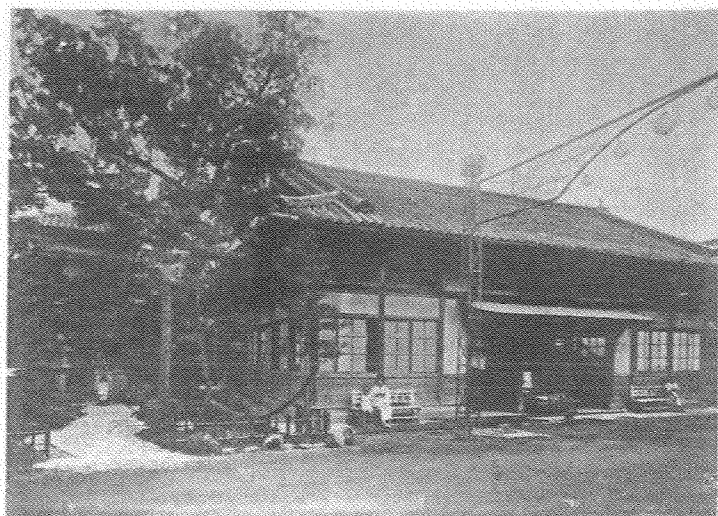
別府市水道源水池



(泉温設市) 泉 老 不



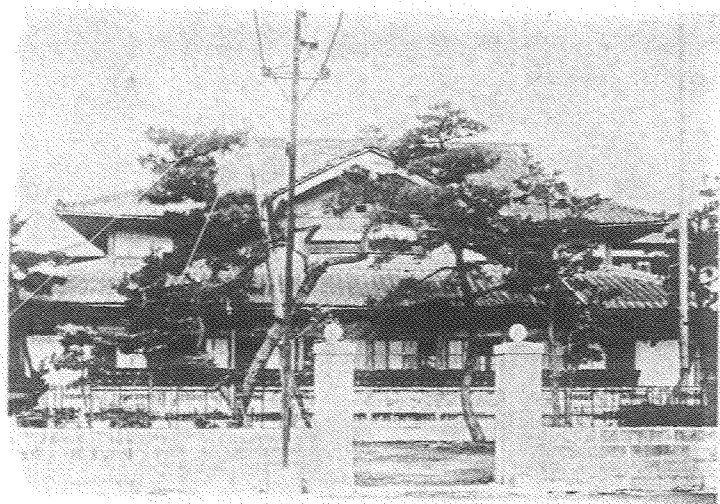
(泉温設市) 泉 温 脇 濱



(設市) 泉 溫 楠



(設市) 泉 溫 瓦 竹



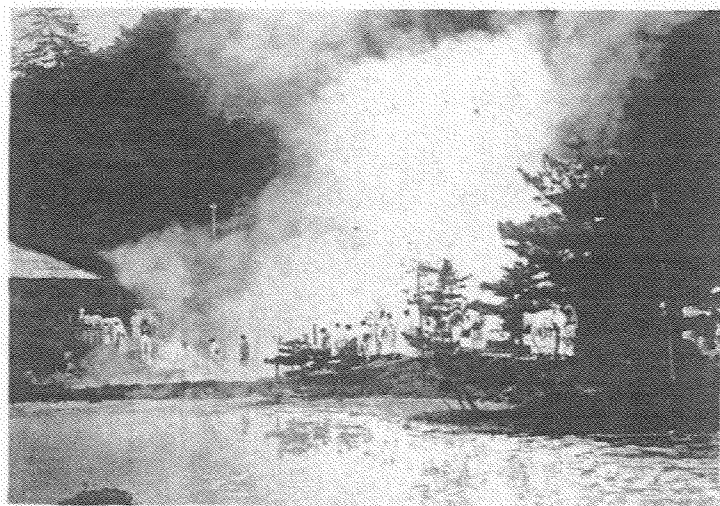
(設市) 泉 潮 靈



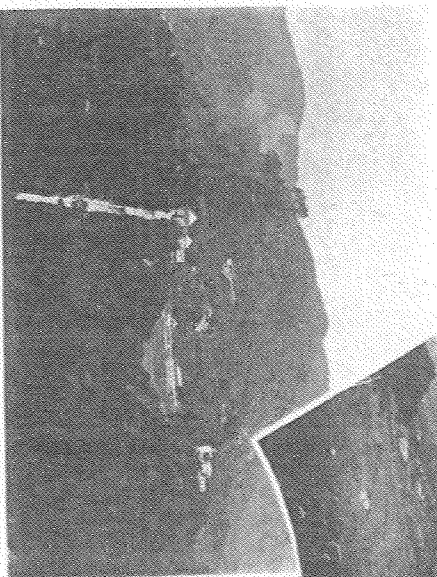
湯 砂 然 天 岸 海



流川通リ全景



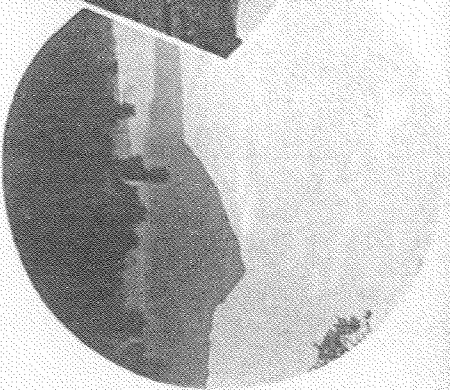
海地獄



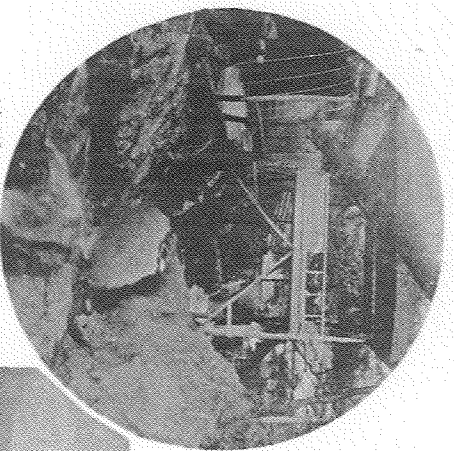
台高原乙寺油觀・景八府別



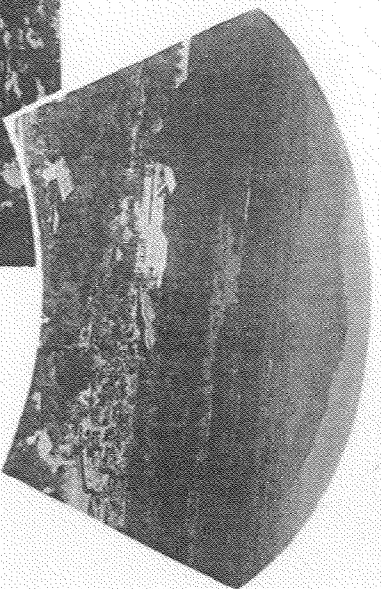
山寺相實・景八府別



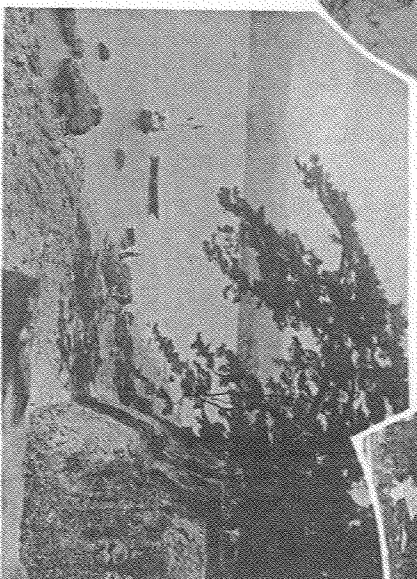
山崎高・景八府別



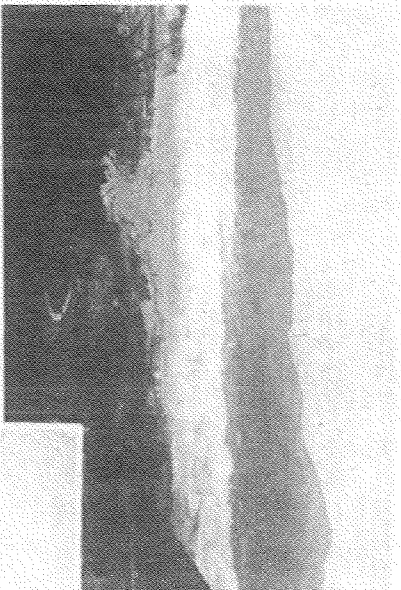
流溪石架・景八府別



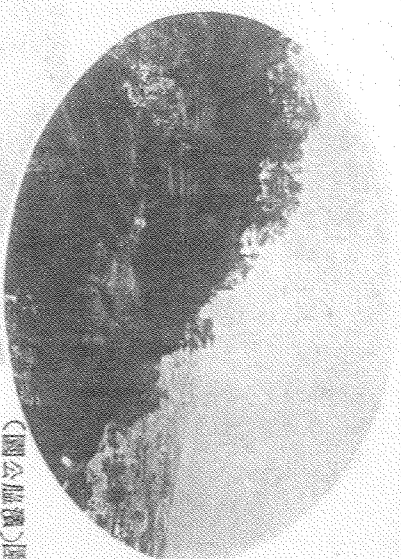
丘見鶴・景八府別



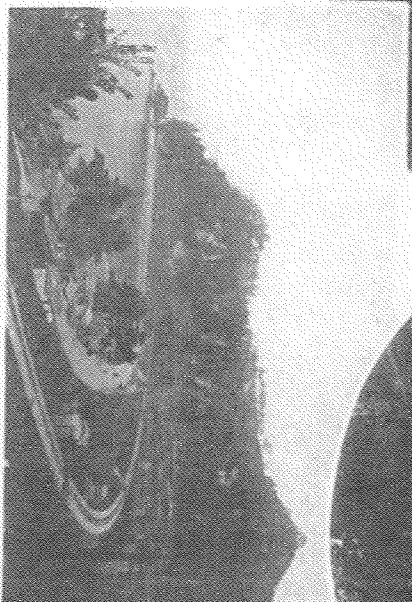
岸海ノ下城出日・景八府別



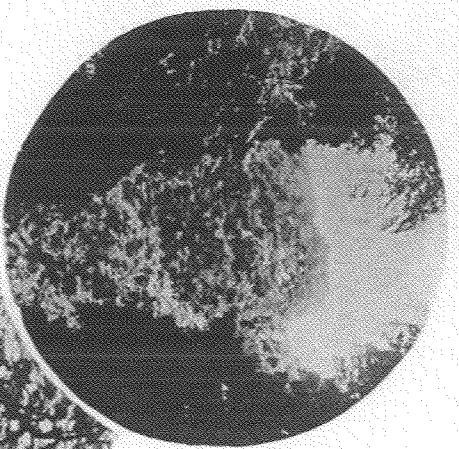
(隱朝) 郷仙布由・景八府別



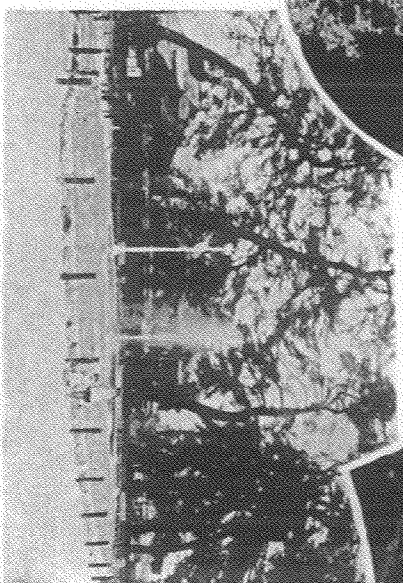
(國公陸廣) 國公東景八府



國公崎佛・勝三府別



谷溪山内・勝三府別



湘高志・勝三府別



凡 例

一、本書は別府市勢の一斑を知るの便に供せんが爲め編纂刊行せるものにして
市役所主管外の事項と雖も必要と認めたるものは之を掲載せり

一、本書は主として昭和五年中の事實を掲げたるも其の變遷消長を通覽するの
要あるものは累年表とせり

一、表中何年とあるは歴年の調にして何年度とあるは會計年度の調なり

昭和六年六月

別 府 市 役 所

昭和六年別府市勢要覽目次

地誌及沿革

第四教 育

第一氣 象	一
一、氣溫及天候	三
二、降霜雪期	三
第二土 地	三
一、面積及廣袤	三
二、官 有 地	四
三、民 有 地	四
四、公私有林野人工造林	五
第三戶 口	五
一、戶數及人口	五
二、人口累年比較	六
三、大字別戶口	六
四、人口動態	七

五、海外在留人	七
六、職業別戶口	七
一、幼 稚 園	八
二、學齡兒童	八
三、小 學 校	九
四、小學校卒業兒童	一〇
五、市立實業學校	一〇
六、市立圖書館	一一
七、青 年 團	一一
八、女子青年團	一二
九、青年訓練所	一二
一〇、少 年 團	一二
一一、教 育 會	一二

第五兵 事

第九衛 生

一、兵役服務人員	一三
二、徵兵人員	一三
三、壯丁体格檢査成績	一四
四、壯丁教育程度	一四
五、海軍志願兵	一四
第六社寺及教會	一五
一、神 社	一五
二、寺 院	一五
三、說 教 所	一六
第七恤 救	一六
一、日本赤十字社	一六
二、愛國婦人會	一六
三、海員救濟會	一七
四、恩賜財團濟生會	一七
第八社會事業	一七

一、行路病人及死亡人取扱	一七
二、市立職業紹介所	一八
1、求 人 數	一八
2、求職者數	一八
3、紹介者數	一九
4、就職者數	一九
5、就職者年齡別	一九
6、求職者教育別	二〇
7、求人、求職、就職者職業別	二〇
三、窮民救助	二一
四、養老事業	二二
五、託兒事業	二三
一、醫 生	二三
二、種 痘	二三
三、埋火葬人員	二三

四、トラホーム治療成績	三
五、汚物掃除	三
六、市立傳染病院	三
七、別府市醫師會	三
八、大分縣齒科醫師會別府支部	三

第十水道

一、用地及水管	三
二、諸池	三
三、栓數使用戶數及使用料	三
四、給水量	三

第十一温泉

一、温泉數	三
二、公設浴場	三

第十二警察及警備

一、警察署編成	三
二、警察事故	三

1、米	三
2、食用農產物	三
3、工藝農產物	三
4、園藝農產物ノ一	三
5、園藝農產物ノ二	三
6、園藝農產物ノ三	三
7、別府市農會	三
三、水產物	三
1、水產物	三
2、水產會	三
四、畜產物	三
1、牛乳	三
2、屠殺	三
3、鶏	三
4、アヒル	三
五、林產物	三

第十三交通運輸

三、消防	六
四、風俗ニ關スル業者	六
一、道路	三
二、船舶車輛	三
三、別府驛概況	三
四、濱脇驛概況	三
五、別府港概況	三
六、電車	三
七、郵便	三
八、電信	三
九、電話	三
一〇、電話事務従事員	三
第十四產業	三
一、工產物	三
二、農產物	三

第十五金融

六、組合及市場	三
七、電氣	三
八、市内街燈數	三
九、瓦斯	三
一〇、縣立商品陳列所	三
一一、煙草賣捌高	三
一二、鹽賣捌高	三
一三、郵便切手、葉書、收入印紙賣捌高	三
一四、別府商工會議所	三
一、銀行預金	三
二、銀行貸付金	三
三、信用組合預金	三
四、信用組合貸付金	三
五、郵便貯金	三
六、郵便爲替	三

七、振替貯金	四
八、簡易生命保険	四
九、郵便年金	五
一〇、私設質屋營業	五
第十六 議員及市吏員	五
一、議 員	五
二、委 員	五
三、市 吏 員	五
四、市會及市參事會	五
五、文書取扱件數	五
第十七 財政	五
一、負 擔	五
二、租稅課率	五
三、市一般經濟	五
四、特別會計溫泉費	五
五、特別會計水道費	五

六、基本財産	五
七、獎學資金	五
八、罹災救助資金	五
九、學校基本財産	五
一〇、御下賜金	五
第十八 雜	五
一、官 公 署	五
二、新 聞 社	五
三、興 行 場	五
四、家屋新築累年比較	五
五、旅客延人員	五
六、名所舊蹟	五
七、溫泉案内	六
八、地獄巡り	六
附 錄	
別府市街圖	

別府地誌及沿革

地 誌

別府市は瀬戸内海の一基點たる別府灣に在み背後に山布、鶴見の秀峯を負ひ西北は石垣村に接し東南は四極山脈を以て大分郡、八幡村及石城川村に境す地勢北西より南東に低く朝見川、境川の二流は市の南位北端を縦貫して別府灣に注ぐ市街は南北に沿ふて波光潯影の間に縱横相望み風光明媚四時の雅趣に富み宛然造化の畫圖を展ぶるに似たり加之山河襟帶の形勢は良く氣候を調節し大氣清鮮溫和にして避暑、避寒四時の清遊に好適す溫泉は山麓谿間、濱海の別なく到る所に湧出し中に酸性泉あり單純泉あり其他鹽類、硫黃、炭酸等凡百の鑛泉一として備はらざるなし殊に海濱汀渚に湧出する砂湯の如きは獨特の靈泉にして最も能く痼疾を醫す水に鮮鱗陸に青菜ありて日常の食膳嗜好に適し又物産に富む街衢井然人口歳と共に増加し商況常に殷賑を呈せり東は大阪、神戸、西は長崎、北は門司、南は大分市を経て宮崎、鹿児島熊本より自由迅速に來遊せらるゝ世界的浴客は入りて清遊に禮讃し出でて再遊を想ふ今や市街伸展更に一段を加ふるものあり

沿 革

別府は古昔速見の濱又は速見瀉と稱へ王朝の時代は豐後の國府の治下に屬し文治建久の交より鎌倉

府の所轄に歸し大友左近將監能直は命を前後二豐の守護職に受け豊後に下りて歴世府内に城居して其の任國を統治したり大友氏世を襲ぐこと二十二代年を歴るもの三百九十八年に於て亡滅す文錄二年なり

豐太閤其の土を収めて一旦檢地を行ひ更に之を數個の功臣に頒てり當時別府は公領として日田布政所の管轄に屬したりしが徳川氏の時日田代官所の支配所となり代官所は大分郡高松村に陣屋を置き此の地をも管轄したり維新後明治二年日田縣は支廳を此處に設け以て管内數個の郡村を管地せしめたるが次で豊後國內の諸縣を廢し大分縣を大分郡府内に置かるゝに當り管内を劃して八大區となし連見全郡を第二大區とし會所を舊日田縣別府假出張所に設け以て二大區一圓に係る事務を處辨せしめたり時に明治五年六月なり次いで六年三月に至り大區會所を廢し各大區に小區を劃し用務所を別府に設置せられたり次いで十一年十一月郡町村を編成せらるゝに當り十五小區の聯合四ヶ村は各自一ヶ村として獨立せり

明治二十二年四月一日町村制を施行するに當り濱脇は濱脇村、別府は別府村を設置す

明治二十六年濱脇村を濱脇町、別府村を別府町と改稱し明治三十九年四月兩町を合併し別府町を設置す

爾後鐵道の開通と共に海陸の交通開け別府温泉の名漸く世に知られ外來の浴客年と共に増加し街衢擴大人口稠密し大正十三年四月一日遂に市制の施行を見るに至れり

第一 氣象

一 氣溫及天候

最 示 度	氣 高 日	最 示 度	低 日	平 均	天 候			
					晴	曇	雨	雪
三 五 ・ 六	七 月 三 十 日	〇 ・ 八	一 月 十 一 日	一 八 ・ 九	二 五	六	四	二

二 降霜雪期

降 霜	終 期	初 期	降 雪	終 期	初 期
霜	三 月 二 十 一 日	十 一 月 廿 五 日	雪	二 月 十 一 日	一 月 五 日

第二 土地

一 面積及廣袤

面 積	周 圍	國 土	廣 袤
一・四五七方里	六里餘	東西	二里餘 南北 一里餘

第一種地	二官有地	三民有地	地目	地目	地目
四、二九〇 坪	四、四九七 坪	三、四六八 坪	段別又八坪數	段別又八坪數	段別又八坪數
			役所敷地	役所敷地	役所敷地
			道路	道路	道路
			學校	學校	學校
			墓地	墓地	墓地
			火葬地	火葬地	火葬地
			溜池	溜池	溜池
			其他	其他	其他
			段別又八坪數	段別又八坪數	段別又八坪數
			四、一九九 坪	四、一九九 坪	四、一九九 坪
			一五〇、二五七 坪	一五〇、二五七 坪	一五〇、二五七 坪
			七、四〇〇 坪	七、四〇〇 坪	七、四〇〇 坪
			一三九、七三六 坪	一三九、七三六 坪	一三九、七三六 坪
			九八〇、一六二 坪	九八〇、一六二 坪	九八〇、一六二 坪
			三三五、〇〇〇 坪	三三五、〇〇〇 坪	三三五、〇〇〇 坪
			九七三、〇〇〇 坪	九七三、〇〇〇 坪	九七三、〇〇〇 坪
			四八九、〇〇〇 坪	四八九、〇〇〇 坪	四八九、〇〇〇 坪
			四、二〇六 坪	四、二〇六 坪	四、二〇六 坪
			四、三〇九 坪	四、三〇九 坪	四、三〇九 坪
			三二五、〇〇〇 坪	三二五、〇〇〇 坪	三二五、〇〇〇 坪
			四、八〇三 坪	四、八〇三 坪	四、八〇三 坪
			八〇〇、〇〇〇 坪	八〇〇、〇〇〇 坪	八〇〇、〇〇〇 坪
			九、七三三 坪	九、七三三 坪	九、七三三 坪
			三、八〇七 坪	三、八〇七 坪	三、八〇七 坪

[illegible]

二 人口累年比較		九、四八〇	八、二九七	八、七三四	三、六七〇	三、一九一	四、七九五	四、六二
年次	性	本籍	入寄留	出寄留	其入 ノ他營	現 戸	口在	
大正十五年 (昭和元年)	女男	一〇、五八八	一、七三六	一、九六二	五七六	八、二五六	一九、二五二	
昭和二年	女男	一〇、七六八	一、六五二	一、九五四	二八八	八、四四五	一九、三〇五	
昭和三年	女男	一一、〇七八	一、九四九	二、一五四	二八八	八、四四五	一九、三〇五	
昭和四年	女男	一一、五六一	二、一五二	二、五九〇	三七五	八、九三八	二〇、〇八七	
昭和五年	女男	一二、八六一	三、三九二	二、八六六	四〇二	九、四八〇	二二、〇九六	
三 大字別戸口 (昭和五年)								
大字名	戸数	男	女	計	男	女	計	

別府	協府	別府	協府	別府	協府	別府	協府	別府	協府
七、二一〇	二、二七〇	一六、四〇二	五、四六七	一六、四四四	五、四四二	三、八四六	一〇、九四九		
四 人口動態 (昭和五年)		五 海外在留人 (昭和五年)		六 職業別戸口 (昭和五年)		七 職業別戸口 (昭和五年)		八 職業別戸口 (昭和五年)	
結婚	離婚	出生	死亡	死亡	出生	出生	死亡	出生	死亡
三、九	五	七、〇	五、七	六、四	一、〇〇一	六、七五	一、〇〇一	六、七五	一、〇〇一
五 海外在留人 (昭和五年)		六 職業別戸口 (昭和五年)		七 職業別戸口 (昭和五年)		八 職業別戸口 (昭和五年)		九 職業別戸口 (昭和五年)	
別府	協府	別府	協府	別府	協府	別府	協府	別府	協府
四三	二四	七六	一四	九六	二九	一四	二四	七六	一四
業名		業名		業名		業名		業名	
本業	副業	本業	副業	本業	副業	本業	副業	本業	副業
三、八	一、五	三、八	一、五	三、八	一、五	三、八	一、五	三、八	一、五
水産業		農業		水産業		農業		水産業	
一、五	三、八	一、五	三、八	一、五	三、八	一、五	三、八	一、五	三、八

工 業 一、二〇〇
商 業 三、五〇〇
交 通 五〇〇
公 務 八五〇
其 他 業 一、五〇〇
無 職 業 一、四七〇
計 九、三〇〇

第四 教 育

一 幼 稚 園 (昭和五年度)

區 別	園 數	男 兒	女 兒	計 數	組 數	保 姆 數	保 育 滿 期 者
市立南幼稚園	一	八	六	一四	三	四	三
市立北幼稚園	一	三	七	一〇	三	四	八
私立京都幼稚園	一	三	五	八	三	四	七
計	三	一四	一八	三二	九	一六	一八

私立眞愛幼稚園

二 學 齡 兒 童 (昭和五年度)

性 別	就 學	卒 業	計 學	猶 豫	免 除	計 學	合 計	就 學 步 合
男	二、四六九	四八五	二、九五四	八	一	二、九六三	二、九六三	九、七三
女	二、三三三	四七七	二、八一〇	一	一	二、八二二	二、八二二	九、七三
計	四、八〇二	九六二	五、七六四	九	二	五、七八五	五、七八五	九、七三

三 小 學 校 (昭和五年度)

名 稱	學 級 數	教 員 數	平 均 一 級 教 員 數	學 生 數	年 學 一	年 學 二	年 學 三	年 學 四	年 學 五	年 學 六	計	出 席 步 合
別府市野口尋常小學校	三二	二四	六・三三	五、七九	二、三五	二、七三	一、〇二	一、〇六	二、四	七、七	六、六	九、七三
別府市北尋常小學校	二〇	一三	四・三〇	四、七三	一、〇九	二、〇〇	七、九	一、〇二	五、九	七、七	五、九	九、七三

校名	程度	修業年限	生徒數	學級數	專任教員	託	區別				計
							高等	尋常	女性	校入	
五市立實業學校							（昭和五年度）				
							女	男	性	校入	
							1	1	1	1	1
							6	9	4	2	21
							1	3	1	1	6
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4
							1	1	1	1	4

別府市聯合女子青年團	一	四九	一	南女子青年團	一	二三	二五	
野口女子青年團	一一	三〇	二五	蓮田女子青年團	一	三五	二五	
北女子青年團	一二	二二	二五					

九 青年訓練所 (昭和五年度)						
名 稱	訓練所數	生徒數	經 費	指導員		
				主事	教練	學科助手
別府市青年訓練所	一	二三	一、四二	一	三	五

一〇 少年 團 (昭和五年度)					
名 稱	團員數	經 費	名 稱	團員數	經 費
野口少年團	六	二五	蓮田少年團	三	二五
北少年團	八	二五			
南少年團	四	二五	計	二六	一〇〇

一一 教育會 (昭和五年度)	
----------------	--

[illegible]

三	三	四	二〇	三八	八	一	五	七	九	二三	二三	三	一	一	二五
三 壯丁体格檢查成績															
甲	種	第一乙種	第二乙種	丙	種	丁	種	計							
四二	三	三	三	三	三	三	三	二〇							
四 壯丁教育程度															
大學卒業及同程度ノモノ	高等學校卒業及同程度ノ者	中學校卒業及同程度ノモノ	高等小學卒業及同程度ノ者	尋常小學卒業及同程度ノ者	不就學	計									
四	二二	五	二二	三六	一	二八									
五 海軍志願兵															
年 度	志願人員	合格人員	採用人員	年 度	志願人員	合格人員	採用人員								
昭和四年	三	三	一	昭和五年	二五	六	一								
第六 社寺及教會															

一 神 社			
名	稱	社 格	位 置
八幡朝見神社	郷 社	大字別府字朝見	温泉神社
秋葉神社	村 社	同 字南町上	波止場神社
愛宕神社	同	同 字佛ノ塔	天満神社
八坂神社	同	同 字檢校	歲 神 社
秋葉神社	同	大字濱脇字上ノ町	明 神 社
住吉神社	同	同 字松原	天満神社
天満神社	同	大字別府字境	金比羅神社
二 寺 院			
名	稱	宗 派 別	位 置
寶滿寺	天台宗	太字濱脇字堂ノ前屋敷	松晉寺
新善光寺	淨土宗	大字別府字郷谷	寶持寺
崇福寺	臨濟宗	大字濱脇字上ノ町	長松寺
三 寺 院			
名	稱	宗 派 別	位 置
寶滿寺	臨濟宗	太字濱脇字赤野	大字濱脇字赤野
新善光寺	淨土宗	大字別府字境	大字別府字境
崇福寺	臨濟宗	同 字田島	同 字田島

海門寺	曹洞宗	大字別府字北町下	修福寺	黃蘗宗	大字濱脇字谷
長覺寺	眞宗	大字濱脇字長覺寺	萬松寺	同	大字別府字野口
西法寺	同	大字別府字北町上	本光寺	日蓮宗	同 宇南立田町

三 說 教 所

宗派別	教會數	宗派別	教會數	宗派別	教會數	宗派別	教會數
神道	三	天理	四	神理	一	御嶽	一
眞言	五	法華	一	金光	二	臨濟	一
							基督
						計	三

第七 恤 救

一 日本赤十字社

佩有効章者	特別社員	終身正社員	正社員	計	年釀金收入額
-------	------	-------	-----	---	--------

四	三	四	四	九	六
---	---	---	---	---	---

二 愛國婦人會

佩有効章者	特別終身維持會員	特別終身會員	特別年釀會員	通身會員	通身年釀會員	計	年釀金收入額
七	一	一九	五九	二四五	三〇六	一四〇六	一、二九〇〇

三 海員掖濟會

特別會員	終身特別會員	終身通常會員	通常會員	計	年釀金收入額
二	三	九	六	二七	三七

四 恩賜財團濟生會

診	療	合計	診	療	廢	止	合	計
前年越員	新患	者	全治	廢療	死亡	實人員	延人員	實人員
一	三	二	五	六	一	二	六	四
外來往診	入院	計						
一	三	二	五	六	一	二	六	四

第八 社 會 事 業

一 行路病人及死亡人取扱

前年ヨリ越		本年取扱タ		計		繰替金扶養義務者ヨリ徴収		縣費ノ掛償ヲ受ケタルモノ		未決定ノモノ	
件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
三	一、一三〇・一	二	八五・六	四	一、九二・二	七	三〇・六	二〇	七七・三	四	八五・八〇
二 市立職業紹介所											
1 求 人 數											
性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢
計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男
一月	二八	二八	二月	二九	二九	三月	二五	二五	四月	二五	二五
五月	二五	二五	六月	二四	二四	七月	二四	二四	八月	二四	二四
九月	二四	二四	十月	二四	二四	十一月	二四	二四	十二月	二四	二四
計	二八	二八	計	二九	二九	計	二五	二五	計	二五	二五
2 求 職 者 數											
一月	二五	二五	二月	二五	二五	三月	二五	二五	四月	二五	二五
五月	二五	二五	六月	二五	二五	七月	二五	二五	八月	二五	二五
九月	二五	二五	十月	二五	二五	十一月	二五	二五	十二月	二五	二五
計	二五	二五	計	二五	二五	計	二五	二五	計	二五	二五

前年ヨリ越		本年取扱タ		計		繰替金扶養義務者ヨリ徴収		縣費ノ掛償ヲ受ケタルモノ		未決定ノモノ	
件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
三	一、一三〇・一	二	八五・六	四	一、九二・二	七	三〇・六	二〇	七七・三	四	八五・八〇
二 市立職業紹介所											
1 求 人 數											
性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢
計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男
一月	二八	二八	二月	二九	二九	三月	二五	二五	四月	二五	二五
五月	二五	二五	六月	二四	二四	七月	二四	二四	八月	二四	二四
九月	二四	二四	十月	二四	二四	十一月	二四	二四	十二月	二四	二四
計	二八	二八	計	二九	二九	計	二五	二五	計	二五	二五
2 求 職 者 數											
一月	二五	二五	二月	二五	二五	三月	二五	二五	四月	二五	二五
五月	二五	二五	六月	二五	二五	七月	二五	二五	八月	二五	二五
九月	二五	二五	十月	二五	二五	十一月	二五	二五	十二月	二五	二五
計	二五	二五	計	二五	二五	計	二五	二五	計	二五	二五

職業別	取扱別	求職者教育別		計	女	男
		高等專門學校畢業以上	中等學校畢業以上			
工業及鑛業	求職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
土木建築	求職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
計	求職者	二、〇六	二、〇六	四、一三	二、〇六	二、〇六
7 求人、求職、就職者職業別						
職業別	取扱別	就職者職業別		計	女	男
		高等專門學校畢業以上	中等學校畢業以上			
工業及鑛業	就職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
土木建築	就職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
計	就職者	二、〇六	二、〇六	四、一三	二、〇六	二、〇六

職業別	取扱別	求職者職業別		計	女	男
		高等專門學校畢業以上	中等學校畢業以上			
工業及鑛業	求職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
土木建築	求職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
計	求職者	二、〇六	二、〇六	四、一三	二、〇六	二、〇六
6 求職者教育別						
職業別	取扱別	就職者職業別		計	女	男
		高等專門學校畢業以上	中等學校畢業以上			
工業及鑛業	就職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
土木建築	就職者	一、〇三	一、〇三	二、〇六	一、〇三	一、〇三
計	就職者	二、〇六	二、〇六	四、一三	二、〇六	二、〇六

五 託兒事業

名稱	經營主休	會員數	職員	國長保姆	在籍平均	經費	市助成金	備考
別府保育園	佛教婦人會	三五〇	一	二	三	二五、一〇三	五〇	常設

第九 衛生

一 醫 生

醫師	齒科醫師	獸醫	藥劑師	產婆	看護婦	鍼灸按摩	藥種數	實業藥醫師	人產婆	人口	市內
五	二六	八	三	七	七	一〇	三	五	八四	二、一八六	九
第一期	五八	七三	九	二七	三	六八	八〇	一	三	一	一
第二期	五	七三	九	二七	三	六八	八〇	一	三	一	一
期別	善感不善感	檢診未了	計	善感不善感	種痘	種痘	種痘	種痘	種痘	種痘	種痘

三 埋火葬人員

性別	埋葬	火葬	葬	同上(他町村)	計
男	五	三五	一八	五八	五八
女	四	二八	一三	四九	四九
計	九	六三	三一	一〇六	一〇六

四 トラホーム治療成績

區別	性別	要檢診人員	受檢人員	治療人員	現患者	トラホーム以外ノ患者
壯丁	男	二九三	二四	二七九	六	一
小學校兒童	女	二、九〇	二、八七	二、八三	三九	三
計		六、二三	五、七五	五、九	六七	四

五 汚物掃除

吏員	人夫	車	公共	汚物搬出量	計	掃除
監督除	巡視除	搬出車	搬出車	搬出車	搬出車	搬出車
計						

消火栓	私設 公設	一 四 六	一 七 四
四給水量			
給水總量	最一日最給水量		
二、三九、三〇立方米	七月十七日 八、四〇〇立方米	一月一日 四、三〇〇立方米	六、三〇〇立方米
第十一温泉	一温泉數	(表中△印ハ鑛泉淺潔出願及許可數ヲ示ス)	
年末現在	在一本年穿掘許可ノモノ	本年穿掘出願ノモノ	本年所有權異動數
公有私有合計	公有私有合計	公有私有合計	公有私有合計
金一、二七、一、二五三	△四、五二二	△四、五二二	△四、五二二
二公設浴場			
名稱設備	種別		
不老泉	炭酸泉、無色透明、無臭、清涼味ヲ有ス		

靈	潮	泉	全	炭酸性含鹽泉、全右
濱	脇	溫	全	炭酸性含鹽泉、微白濁、無臭、稍之酸味
竹	瓦	溫	全	炭酸性含鹽泉、無色透明、稍之酸味
日	ノ	出	全	炭酸性含鹽泉、無色透明
楠	溫	泉	全	炭酸泉、無色透明、稍之酸味
田	ノ	湯	全	炭酸泉、白色半透明
海	岸	砂	全	炭酸性鹽類泉、無色透明
壽	溫	泉	區	炭酸泉、無色透明
柳	溫	泉	全	炭酸性單純泉、全右
梅	園	溫	全	全右
藥	師	溫	全	炭酸泉、白色混濁
紙	屋	溫	全	炭酸泉、無色透明
春	日	溫	全	炭酸性鉄類泉、無色透明
的	夕	濱	全	

第十二 警察及警備

一 警察署編成									
警察署		派出所		警視廳署		員計			
一	五	一	一	四	一	八	六〇	七五	
二 警察事故									
殺人	強盜	竊盜	詐欺	恐喝	放火	失火	其他犯罪	變死	違警罪
一	一	一〇九	三九	五	四	三	五〇	五〇	一八九
三 消防									
組數	組頭	副組頭	小頭	副小頭	係長	消防手	計		
三	一	兼一	三	兼三	三	二七〇	三九		
四 風俗ニ關スル業者									
藝妓	娼妓	酌婦	水仕	仲居	計	貸座敷數			
一五〇	二八〇	二三三	四五〇	一〇六	一二七	五四			

第十三 交通運輸

道路

第十三 交通運輸										
一 道 路										
區 別	國 道	縣 道	市 道	計						
延 長 面 積	一、三三〇間 一〇、六八坪	二、〇〇一間 二、七〇〇坪	二、二一〇五間 二、九一五坪	二、五八四間 二、九一六〇坪						
二 船 舶 車 輛										
自動車 自轉車	自轉車	荷 車	荷馬車	牛 車	カ リ ア	附屬 荷台車	鯨魚船	遊 船	小廻船	噸數船
自家 營業	四 七、二〇七	六 六六	七 七	七 二五	一 一三	九 六	四 二			
三 別 府 驛 概 況										
乘車人員	三、六八八人	入場券發賣數	七、七四枚	發送貨物(小口)	二四、四九圓五					
乘客貨金	五七、二四圓九	發送貨物噸數	六、八二〇〇	料 金	同(特小)料金	一四、五九圓二				
下車人員	六八、五五人	同(貸切)料金	三、三五圓八	到着貨物噸數	三、〇五二〇〇					

發送手荷物個數	三、六三〇個	到着手荷物個數	四三、八五〇個	發送小荷物料金	一四、四〇圓六
發送手荷物料金	四、五二四圓五	發送小荷物個數	二天、五〇個	到着小荷物個數	五、〇四七個
四 濱脇驛概況					
乘車人員	二七、六二八人	定期乘車券發賣數	四九枚	到着貨物噸數	一、三六噸
乘客賃金	八、二〇八圓三	同發賣金額	五、三六圓七	發送手小荷物噸數	一五、〇七個
下車人員	三九、三六八人	發送貨物噸數	九三噸	同料金	三、三九圓〇
入場券發賣數	六、二五枚	同料金	一〇、二三圓六	到着手小荷物噸數	二、一五個
五 別府港概況					
乘船人員	一三、五五八人	下船人員	一〇七、四四八人	發送貨物	五、八五二個
六 電車					
乘車人員	三七、四八一人	下車人員	三七、四八一人	賃金	二六、二〇圓八三
七 郵便					

局數	切手賣	函數	普通	特種	普通	特種	普通	特種	普通	特種
四	三元	三六	一	五、七五	一	六、四二	四、四六	三、二五	五、六三	三、六二
八 電信										
內發	國外	信	內着	國外	信	內中	國外	信	內中	國外
三、二七	四九三	二五、八〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
九 電話										
局數	自動電話數	加入者數	單獨	共同	私設	加入者一	互	長	延	路
一	五	一、二四	一、三	一五	二三	八、四三、四九	四、八〇五	二五、五八	二五、五八	二五、五八
一〇 電話事務從事員										
書記	技手	書記	補	事務員	電話主事補	電話事務員	計			

區別	水稻		陸稻		稗麥		小麥	
	梗米	糯米	糯米	糯米	糯米	糯米	糯米	糯米
1 米	二、八〇〇	二、七〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇
2 食用農產物	二、七〇〇	二、七〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇
價格	四、五〇〇	三、九〇〇	一、〇〇〇	五、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一反步收穫高	二、五〇〇	二、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
單價	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇

品名	製造		職		工		價格	
	戶數	男	女	計	戶數	男	女	計
傘(和洋共)	三	七	二	九	六	一	二	四
扇子及團扇	二	三	五	八	四	一	二	四
柁柳製品	一	三	一	五	三	五	一	九
籐製品	二	四	一	六	五	五	一	六
竹製品	二	四	一	六	五	五	一	六
木製品	一	三	一	五	三	五	一	九
皮革製品	一	三	一	五	三	五	一	九
漆器	二	三	一	六	五	五	一	六
陶磁器	三	三	三	九	六	三	三	六
帽子	二	三	三	六	六	三	三	六
提燈	三	三	三	九	三	三	三	九
洋服	三	三	三	九	三	三	三	九
絆物	三	三	三	九	三	三	三	九
石細工	三	三	三	九	三	三	三	九
紙布製品	三	三	三	九	三	三	三	九
煉炭、炭團	三	三	三	九	三	三	三	九
下駄	三	三	三	九	三	三	三	九
紋染	三	三	三	九	三	三	三	九
棕櫚製品	三	三	三	九	三	三	三	九
計	四七	一、二五	一、二五	二、五〇	四七	一、二五	一、二五	二、五〇
價格	一、四六	三、五〇	三、五〇	七、〇〇	一、四六	三、五〇	三、五〇	七、〇〇

區別	作付反別	收穫高	價格	一段歩收穫高	單價
大 豆	三反	二五	四〇	三反	二五
小 豆	三反	二五	四〇	三反	二五
ア 豆	三反	二五	四〇	三反	二五
トウモロコシ	三反	二五	四〇	三反	二五
(玉蜀黍)	三反	二五	四〇	三反	二五
ソバ (蕎麥)	三反	二五	四〇	三反	二五
サツマイモ (甘藷)	三反	二五	四〇	三反	二五
ジャガイモ (馬鈴薯)	三反	二五	四〇	三反	二五
計	三反	二五	四〇	三反	二五
コニヤク芋	三反	二五	四〇	三反	二五
ゴマ (胡麻)	三反	二五	四〇	三反	二五
シチトリキ	三反	二五	四〇	三反	二五
(七島蘭)	三反	二五	四〇	三反	二五
計	三反	二五	四〇	三反	二五

區別	作付反別	收穫高	價格	一段歩收穫高	單價
インゲン豆 (菜豆)	三反	二五	四〇	三反	二五
キウリ (胡瓜)	三反	二五	四〇	三反	二五
シロウリ (越瓜)	三反	二五	四〇	三反	二五
カボチャ (南瓜)	三反	二五	四〇	三反	二五
スイカ (西瓜)	三反	二五	四〇	三反	二五
ナス (茄子)	三反	二五	四〇	三反	二五
トマト (蕃茄)	三反	二五	四〇	三反	二五
エンド (豌豆)	三反	二五	四〇	三反	二五
ソラマメ (蠶豆)	三反	二五	四〇	三反	二五
計	三反	二五	四〇	三反	二五
ミカン (蜜柑)	三反	二五	四〇	三反	二五
ネーブル、オレンヂ	三反	二五	四〇	三反	二五
ナツミカン (夏橙)	三反	二五	四〇	三反	二五
其ノ他ノ柑橘類	三反	二五	四〇	三反	二五
計	三反	二五	四〇	三反	二五

區別	作付反別	收穫高	價格	一段歩收穫高	單價
大 豆	三	四	一、二四	四	三
小 豆	三	四	一、二四	四	三
ア 豆	三	四	一、二四	四	三
トウモロコシ	三	四	一、二四	四	三
(玉蜀黍)	三	四	一、二四	四	三
ソバ (蕎麥)	三	四	一、二四	四	三
サツマイモ (甘藷)	三	四	一、二四	四	三
ジャガイモ (馬鈴薯)	三	四	一、二四	四	三
計	三	四	一、二四	四	三
區別	作付反別	收穫高	價格	一段歩收穫高	單價
大 豆	三	四	一、二四	四	三
小 豆	三	四	一、二四	四	三
ア 豆	三	四	一、二四	四	三
トウモロコシ	三	四	一、二四	四	三
(玉蜀黍)	三	四	一、二四	四	三
ソバ (蕎麥)	三	四	一、二四	四	三
サツマイモ (甘藷)	三	四	一、二四	四	三
ジャガイモ (馬鈴薯)	三	四	一、二四	四	三
計	三	四	一、二四	四	三

區別	別	模數	收穫高	價格	單價	區別	別	模數	收穫高	價格	單價
ミカン (蜜柑)		八〇 _本	二、四〇〇 _本	八四〇 _門	三五	ナツミカン (夏橙)		三五 _本	一、三四〇 _門	二六八 _門	二 _本
ネーブル、オレンヂ		二〇	六〇	一五二	百匁四	其ノ他ノ柑 橘類		四〇〇	一、二〇〇	二四〇	二 _本

5 園藝農産物ノ二											
インゲン豆 (菜豆)	三八	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
キウリ (胡瓜)	三三	一〇、五〇〇 _{百匁}	一、二〇〇	三、五〇〇	八、〇〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
シロウリ (越瓜)	三三	一〇、五〇〇 _{百匁}	一、二〇〇	三、五〇〇	八、〇〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
カボチャ (南瓜)	三七	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
スイカ (西瓜)	一〇	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
ナス (茄子)	四〇	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
トマト (蕃茄)	七七	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
エンドウ (豌豆)	七七	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
ソラマメ (蠶豆)	三五	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇
計	一三〇	一〇、五〇〇 _{百匁}	三、五〇〇	八、〇〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	四、〇〇〇	七〇〇	一〇八	四、五五	一、〇〇〇

升ニ付	二六	貫ニ付	三五	同	三八	三八	二五	五	八	三	一
-----	----	-----	----	---	----	----	----	---	---	---	---

區別	作物別	收穫高	價格	一反歩價	區別	作物別	收穫高	價格	一反歩價
生大根	一六〇	二四、〇〇〇	一四、四〇〇	九〇	ネギ(葱)	三〇	一四、〇〇〇	三、五〇〇	四〇〇
カブラ(蕪菁)	七	二、〇〇〇	四〇	三〇	タマネギ(葱頭)	一〇	六、〇〇〇	一、一〇〇	六〇〇
ニンジン(蘿蔔)	二〇	九、〇〇〇	二、二五〇	四五	キャベツ(藍)	一〇	四、〇〇〇	一、一〇〇	四〇〇
ゴボウ(牛蒡)	七	三、一五〇	九五	四五	ツケナ(漬菜)	九	四、〇〇〇	九〇	五五〇
サトイモ(里芋)	二〇	五、〇〇〇	二七〇	四五	計	四五	一六、二四〇	一	一
レンコン(蓮根)	六	二、一〇〇	五五	三三					

7 別府市農會

年度	會員數	會長	副會長	幹事	總代	評議員	病虫害防除	督勵員	書記	技手	經費
昭和五年度	一、七〇	一	一	一	二〇	二〇	三	囑託三	囑託二	三、二五	
三水産物											
種別	數量	價額	種別	數量	價額	種別	數量	價額	種別	數量	價額
イワシ	六、〇〇〇	二〇、四〇〇	サワラ	一、五〇〇	五、二五〇	ナマコ	三〇〇	三、五〇〇	イワシ	二五、〇〇〇	一、八〇〇
カツヲ	二五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	アヲ	一、二〇〇	一、八〇〇	其ノ他	三、五〇〇	三、五〇〇	カツヲ	二五、〇〇〇	一、八〇〇
サバ	八、〇〇〇	六、四〇〇	トビウヲ	二〇〇	二四〇	スルメ	三、五〇〇	一〇、五〇〇	サバ	八、〇〇〇	六、四〇〇
マダラ	一、〇〇〇	四、〇〇〇	ボヲ	一、〇〇〇	一、〇〇〇	スルメ	三、五〇〇	一〇、五〇〇	マダラ	一、〇〇〇	四、〇〇〇
シロヒ	四、五〇〇	二、一五〇	コノシヲ	二〇〇	二四〇	者乾イワシ	五、〇〇〇	一、一〇〇	シロヒ	四、五〇〇	二、一五〇
ブリ	五、〇〇〇	二、七五〇	イカ	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	者乾イワシ	五、〇〇〇	一、一〇〇	ブリ	五、〇〇〇	二、七五〇
タロヒ	二、〇〇〇	五、〇〇〇	エタ	二〇〇	二〇〇	チカマ	五、〇〇〇	一、一〇〇	タロヒ	二、〇〇〇	五、〇〇〇
クロレタ	三、五〇〇	七、〇〇〇	エタ	四〇〇	四〇〇	チカマ	五、〇〇〇	一、一〇〇	クロレタ	三、五〇〇	七、〇〇〇
ヒカメ			ビコ			チカマ			ヒカメ		

昭 和 五 年 度									
2 水 産 會									
會 員 數									
會 長 副 會 長 總 代 議 員 評 議 員 主 事 書 記 技 手									
經 費									
2 五									
1 牛 乳									
四 畜 産 物									
種 別									
頭 數									
搾 乳 業 者									
數 量									
價 格									
單 價									
高 價									
2 屠 殺									
數 場 屠									
種 別									
頭 數									
肉 價									
單 價									
計 量									
成 牛									
五 七									
七 四 三 六 〇 五 八 五									
二 九 七 〇 七 三 六									
二 四 三 八 八 三									

昭 和 五 年 度									
2 水 産 會									
會 員 數									
會 長 副 會 長 總 代 議 員 評 議 員 主 事 書 記 技 手									
經 費									
2 五									
1 牛 乳									
四 畜 産 物									
種 別									
頭 數									
搾 乳 業 者									
數 量									
價 格									
單 價									
高 價									
2 屠 殺									
數 場 屠									
種 別									
頭 數									
肉 價									
單 價									
計 量									
成 牛									
五 七									
七 四 三 六 〇 五 八 五									
二 九 七 〇 七 三 六									
二 四 三 八 八 三									

合計		三五	二〇	一	產	卵	八、〇〇〇	三四	四
五林產物									
品名	數量	價格	品名	數量	價格	品名	數量	價格	
竹	一〇石	二〇〇	柴	三五〇〇	三五〇	木	八、〇〇〇	一二〇〇	
皮	四〇〇	六〇	草	五、〇〇〇	七五〇	計	一	二、五〇〇	
六組合及市場									
名稱	組數	名稱	組數	名稱	組數	名稱	組數	名稱	組數
產業組合	四	各種組合	四	魚市場	二	果物市場	一		
漁業組合	二	食料品市場	四	青物市場	二				
七電氣									
計量燈	電	戶數	定額燈	戶數	電料	金	電熱使用戶數		
三、四、五燈		二、三、九戶	一七、七燈	七、二〇戶	一九、九三圓七		三七八戶		

八市內街燈數									
十燭光	十六燭光	廿四燭光	卅二燭光	五十燭光	一百燭光	二百燭光	三百燭光	五百燭光	合計
二、五	四	三六	四	二四	一八五	五	五	三	三六四
九瓦斯									
使用總量	使用金額	營業使用	個人使用	計數					
七九、〇八立方米	六、八三圓〇六	五〇九	九二	一四九〇					
一〇縣立商品陳列所									
開所日數	休所日數	來觀人數	物品販賣點數	全上金額					
三五四	二	四七、七五八	六六二	二、八〇四圓八					
一一煙草賣捌高									
元賣捌所數	小賣人數	口內	付兩地	切製	內地葉卷	及輸入煙草	計		

一		17,121,570.56 ^円	103,479.44 ^円	53,641.45 ^円	8,081,249.1 ^円	377,773.33 ^円
二 鹽賣捌高						
元賣捌所	小賣人數	賣渡數量	賣渡價	賣渡格		
一	九二	五八,四九二 ^斤		二八,三五二八七 ^円		
三 郵便切手葉書收入印紙賣捌高						
切手	葉書	收入	印紙			
一四,七六〇・〇七五 ^円	三九,二三五・三六五 ^円		一一〇,七八七・四五〇 ^円			
四 別府商工會議所						
名 稱	創立年月日	議員數	顧問所員數	經費豫算		
別府商工會議所	昭和四年十月四日	選出議員 常議員 七	顧問 理事書記 計 二 一 五	三,五〇五 ^円		

第十五 金 融

一 銀行預金						
銀行數	前年繰越高	本年預金高	計	拂戻高	年末現在	
六四,七三三,九三三・五〇二六 ^円	六〇,二二六,八二〇・三三〇 ^円	三三,九四七・七四〇・三〇二六 ^円	四九二,七三三・三三〇 ^円			
二 銀行貸付金						
銀行數	前年繰越高	本年貸出高	計	戻金高	年末現在	
六三,〇四四,九六六・六六〇 ^円	九四,七五二,五六・九七〇 ^円	三,五二〇,二六・六三 ^円	九,六九九・七九・五八〇 ^円			
三 信用組合預金						
組合數	前年繰越高	本年預金高	計	拂戻高	年末現在	
一一,三九九,三三・四二〇 ^円	三,七四一,三三・三五〇 ^円	五,二二〇,七九・七〇 ^円	三,六五九,三三・九八〇 ^円			
四 信用組合貸付金						
組合數	前年繰越高	本年貸出高	計	戻金高	年末現在	
一	九六,五九八・八四〇 ^円	一,五四一,〇〇・七〇〇 ^円	二,四五〇,七〇・四〇〇 ^円	一,四九二,二九・七〇〇 ^円	九五八,五〇三・九七〇 ^円	

五郵便貯金 (昭和五年)									
局數	預金額	入口數	拂入金額	入口數	戻入口數	現在金額	入口數	高	
四	一、二八六、二五五・四七〇	五、二三四	一、三六、〇〇〇・八九九	三、六六六	一、三六六、三四・〇〇〇	一六、二一九			
局數	振替金額	替件數	拂替金額	拂替件數	渡替金額	渡替件數			
四	七九五、五五七・七〇〇	三一、五四九	一、三七七、四三・〇一〇	四七、四四九					
局數	振替金額	達件數	拂金額	拂件數	渡金額	渡件數			
四	九二〇、六五七・〇〇〇	一八、〇八九	三六、八八・五〇〇	三四、五					
八簡易生命保險									

九郵便年金									
局數	前年金額	現在入口數	新規金額	契約入口數	年終金額	現在入口數	高		
一	一一、四三、四七〇・〇〇〇	一四、四七四	二、二六、四〇〇・八〇〇	一、六八八	二、三三、二四・〇〇〇	一五、一七四			
局數	前年金額	現在入口數	新規金額	契約入口數	年終金額	現在入口數	高		
一	一九、〇七〇・〇〇〇	一四	二、五四・〇〇〇	二四	一五、五〇・〇〇〇	一四			
一〇私設質屋營業									
店數	前年越過金額	貸出件數	貸出金額	受戻件數	受戻金額	流質件數	流質金額	年終現在金額	年終現在件數
二	二五、二五五	三六、三三	二五、二五五	三六、三三	四、四五一	八、五五二	二六、八三三	一四、四三三	三五、八六七
第十六議員及市吏員									
一議員									
區別	衆議院	一縣	會	一市	會				

議 員	選 舉 有 權 者	八、三九一	七、六九二	三〇
二 委 員				
學務委員	造林委員	土木委員	水道委員	三
一〇	五	三	三	三
三 市 吏 員				
市長	助役	收入役	主事	視學技師書記通譯技手掃除監督技手補書記補掃除巡視水檢手計
一	一	一	四	一
一	一	一	三	三
一	一	一	九	一
一	一	一	二	二
一	一	一	三	三
一	一	一	四	四
一	一	一	八	八
四 市會及市參事會				
市 會				
開會日數	議事件數	一日平均出席數	開會日數	議事件數
七	四三	二四人半	三	四
市 參 事 會				
開會日數	議事件數	一日平均出席數	開會日數	議事件數
七	四三	二四人半	三	四
五 文書取扱件數				
七八八四				

[illegible]

種別		縣稅		市稅		種別		縣稅		市稅	
地租附加稅	其ノ他地	七、四二、四八九	七、四二	觀覽稅	七、四二	電柱稅	四、八〇	土地ニ對スル不動產取得稅	一、六〇	其ノ他ノ雜種稅	一、五〇
營業收益稅附加稅		五〇	七、三三	營業稅附加稅	一、二〇	遊藝場所	一、二〇	遊藝場	一、五〇	其ノ他	一、五〇
所得稅附加稅		三、四五	七、三三	特別稅戶數割	一、〇〇	家屋稅附加稅	一、〇〇	私法人	八〇	平均一五八〇	
礦業稅附加稅		七	七、三三		五〇						
演劇行											
興行											
白轉車											
藝人力											
市場											
家屋ニ對スル取得稅											
遊興稅											
雜種稅附加稅											

三 市 一 般 經 濟	
入	歲
財產ヨリ生スル入	四、七〇 ^四
收	五、〇〇
使用料及手數料	一五、一四〇
交 付 金	二五、八〇
國庫下渡金	三、八〇
國庫補助金	三、八〇
入	六、五八
會議費	七、四二
役 所 費	三、三六
土 木 費	一、〇六
尋常小學校費	二、六二
高等小學校費	七、五三
幼稚園費	二、六四
夜間商業學校費	一、〇七
圖書館費	六、五八
入	二、五五
縣補助金	二、五五 ^四
負擔金	五、〇〇
繰入金	七、〇〇
財產賣却代	一、〇〇
繰越金	八、〇〇
入	二、五五
學事諸費	八、六九
青年訓練所費	九、五二
傳染病豫防費	二、三〇
市立病舍費	八、八四
汚物掃除費	七、〇七
衛生諸費	六、〇〇
屠場費	一、三四
公園費	二、五四
入	六、七〇
墓地費	三、七〇
火葬場費	四、九五
公會堂費	四、九六
市場費	二、五〇
產業費	六、七〇
救助費	三、八八
警備費	六、四六
基本財産造成費	六、〇五
入	六、七九 ^四
雜收入	三、三六
市 稅	六、〇〇
市 債	五、三、〇五
計	

出	財 產 費	諸 稅 及 負 擔	時 報 費	社 會 事 業 費	四、一五三	職 業 紹 介 所 費	一、九二	豫 備 費	五、〇〇〇
入	財 產 費	二、一七	一、四二	一、二五	三、一三	徵 稅 費	九、四四	計	三九、五八
歲 入	溫 泉 費	二〇、三四〇	六、四八八	雜 支 出	五、〇七八	海 水 浴 場 費	九、四五	計	三九、五八
歲 出	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入	財 產 費	六、四八八	雜 支 出	六、四八八	六、四八八	豫 備 費	一、五〇〇	計	一、五〇〇
入</									

出	時	臨	部	入	歲	出	歲
家	溫	家	家	家	家	家	家
屋	泉	屋	屋	屋	屋	屋	屋
營	家	營	營	營	營	營	營
繕	屋	繕	繕	繕	繕	繕	繕
費	建	費	費	費	費	費	費
六、〇〇〇	六、〇〇〇						
拂	拂	拂	拂	拂	拂	拂	拂
辰	辰	辰	辰	辰	辰	辰	辰
金	金	金	金	金	金	金	金
四、八三	五、九〇						
溫	溫	溫	溫	溫	溫	溫	溫
泉	泉	泉	泉	泉	泉	泉	泉
調	調	調	調	調	調	調	調
查	查	查	查	查	查	查	查
費	費	費	費	費	費	費	費
一八、二三	五、〇〇						

入歳	出歳	入歳	出歳	入歳	出歳	入歳	出歳
資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入
一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
計	計	計	計	計	計	計	計
一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六
八 罹災救助資金	八 罹災救助資金	八 罹災救助資金	八 罹災救助資金	八 罹災救助資金	八 罹災救助資金	八 罹災救助資金	八 罹災救助資金
資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入	資金收入
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金
六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二
計	計	計	計	計	計	計	計
一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九
九 學校基本財産	九 學校基本財産	九 學校基本財産	九 學校基本財産	九 學校基本財産	九 學校基本財産	九 學校基本財産	九 學校基本財産
基本財産收入	基本財産收入	基本財産收入	基本財産收入	基本財産收入	基本財産收入	基本財産收入	基本財産收入
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金	繰入金
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
計	計	計	計	計	計	計	計
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
一〇 御下賜金	一〇 御下賜金	一〇 御下賜金	一〇 御下賜金	一〇 御下賜金	一〇 御下賜金	一〇 御下賜金	一〇 御下賜金
豫金利子	豫金利子	豫金利子	豫金利子	豫金利子	豫金利子	豫金利子	豫金利子
五	五	五	五	五	五	五	五
計	計	計	計	計	計	計	計
五	五	五	五	五	五	五	五

出歲	蓄積金	五	計	五
第十八雜				
一官公署				
別府警察署	別府郵便局	竹瓦郵便局	行合郵便局	濱脇郵便局
大分區裁判所別府出張所	大分縣商品陳列所	公証人役場	別府市役所	別府商工會議所
大字別府永石通り一丁目	大字別府中濱通り五丁目	大字別府字竹瓦町	大字別府字行合町	大字濱脇字上ノ町
大字別府中濱通り七丁目	大字別府字原	大字別府字松原	大字別府秋葉通り四丁目	大字別府流川通り三丁目
電話番號	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇

二新聞社				三興行場			
名	稱	位	置	名	稱	位	置
別府毎夕新聞社	大字別府秋葉通り			常設活動寫真	世界館	大字別府字松原	
温泉タイムス社	同 字彌生町			同	帝國館	同 字羽衣町	
別府新報社	同 字田ノ湯			同	大成館	同 字驛前通	
三興行場				四家屋新築累年比較			
種別	名	位	置	種別	名	位	置
寄席	松濤館	大字別府字松原		場	北進館	同 字行合町	
常設活動寫真	松榮館	同 字住吉町		寄席	なの字館	同 字楠町	
年 度	三階二階平家移轉模様替其ノ他			年 度	三階二階平家移轉模様替其ノ他		
計	計	計	計	計	計	計	計

五旅客延人員				五旅客延人員			
種別	名	位	置	種別	名	位	置
大正十四年	三	二	四	大正十四年	三	二	四
大正十五年	二	二	二	大正十五年	二	二	二
(昭和元年)	二	二	二	(昭和元年)	二	二	二
昭和二年	三	二	二	昭和二年	三	二	二
五旅客延人員				五旅客延人員			
種別	名	位	置	種別	名	位	置
旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅
内國人	内國人	内國人	内國人	内國人	内國人	内國人	内國人
外國人	外國人	外國人	外國人	外國人	外國人	外國人	外國人
貨	間	船	船	貨	間	船	船
計	計	計	計	計	計	計	計

六	七	八	九	十	十一	十二	合	一ヶ月平均
月	月	月	月	月	月	月	計	平均
△ 四、七四 五、七三	△ 三、六二 三、五八	△ 三、七〇 三、七〇	△ 三、五九 三、五〇	△ 三、七二 三、七二	△ 三、四三 三、四三	△ 三、三三 三、三三	△ 三、二八 三、二八	△ 三、一七 三、一七
△ 四、八二 四、八二	△ 四、五二 四、五二	△ 四、七〇 四、七〇	△ 四、二七 四、二七	△ 四、二七 四、二七	△ 三、八二 三、八二	△ 三、〇二 三、〇二	△ 三、〇二 三、〇二	△ 二、九八 二、九八
△ 一、〇八 一、〇八	△ 九、八二 九、八二	△ 九、七九 九、七九	△ 四、〇七 四、〇七	△ 三、〇二 三、〇二	△ 二、四九 二、四九	△ 三、三九 三、三九	△ 三、三九 三、三九	△ 三、三九 三、三九
△ 一、六八 一、六八	△ 一、七九 一、七九	△ 一、七九 一、七九	△ 一、二〇 一、二〇	△ 一、二〇 一、二〇	△ 一、二〇 一、二〇	△ 一、二〇 一、二〇	△ 一、二〇 一、二〇	△ 一、二〇 一、二〇
△ 五、五五 五、五五	△ 三、四一 三、四一	△ 三、四一 三、四一	△ 五、二二 五、二二	△ 三、四一 三、四一	△ 三、四一 三、四一	△ 三、四一 三、四一	△ 三、四一 三、四一	△ 三、四一 三、四一

六名所舊蹟 別府八景

一日平均	△ 一、二七 一、二七	△ 一、〇六 一、〇六	△ 一、二三 一、二三	△ 一、三〇 一、三〇	△ 一、二五 一、二五
------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

【鶴見ヶ丘】 別府アルプスの連山々脚遙かに延びて將に海に臨まんとするところ緩漫なるスロープがそれである別名石垣原とも云ふ、廣袤約一里、土地高燥眺望明豁、時は慶長五年秋九月大友義統の軍勢三千余騎、黒田如水の總勢八千余騎、秋風颯々たる石垣荒原を挟んで五日に亘りて激戦し屍山血河殺氣天地を震撼せしめたる著名の古戦場なり、千人塚、鐘掛の松等の古蹟あり、今は一帯鶴見園、文化村等の如き文化的設備も施され又地球物理學研究所、温泉療養學研究所等最高學府の學術機關も此の地域に在り。

【高崎山】 別府の南方に聳ゆる兜型の標峰、標高二千三百四十尺、山脚深く海心に伸び優麗秀拔、史實に富める別府の代表的名山である、山の嶺は高原にして六百年前大友氏が威を九州に振ひしと云ふ高崎城の遺址あり、現存する狼火釜は纔かに往事を偲ばる、全山國有林にして山猿の禁區に指定され路を濱臨東山より赤松峠にとり更に左方を登れば行程約一里山上の遠眺は到底筆舌のよくするところにあらず。

【實相寺山】 別府市街の西北一里、温泉地帯の中央に位し山谷恰も饅頭の如き一壑槽それなり、此の山は昔慶長五年秋、石垣原合戦の時中津城主黒田如水が本陣を築き大友義統の軍と力戦奮闘したる著名の古戦場なり、頂上は稍々平かにして樹木森々、漫々たる別府灣の碧水と茫漠たる石垣原とを脚下に俯瞰し得、附近には其の忠烈の名を千載に傳ふる吉弘公の祀廟、古刹實相寺等あり。

【觀海寺乙原高台】 別府の西方に位する高台一帯の總稱にして大別府市街を脚下に俯瞰し豫州、豐洋の大觀滿眸に落下する眺望は古來幾多の詩歌に詠ぜらる、觀海寺の温泉は建久五年の發見と傳へらる古き歴史を有し其の幽遠なる溪谷美は金比羅山、乙原山上の展望美と共に代表的景勝なり。

【東公園(別名濱脇公園)】 別府の一部にして古き歴史を物語る濱脇南端に起伏する丘陵一帯を稱し其の中心をなす金比羅山は展望絶佳、脚下に進展し行く泉都別府の市街を俯瞰し洋々たる豐後灣の碧波は遠く國東半島の岱色に帆影と相映じ、右方佐賀關半島は呼べば應へんばかりにて左方遙かに由布、鶴見の秀嶺相連なり山岳美と海洋美と市街美とを一眸の中に集むる所四時の行樂に適し又附近には古來百穴と稱する古墳並列し、北西には河鹿鳴く河内谷の幽遠なる溪谷あり。

【日出城下海岸】 別府を距る北方約三里、別府灣頭隨一の景勝地にして慶長六年以來木下氏の舊城址なり、城下一帯の海岸には幾百年の星霜を経たる巨木老松生ひ繁り灣内波靜かなるところ漁船往來し宛然一幅の活畫なり、若しそれ中秋の月を眺めんか波に碎くる金波銀波は到底筆舌の克く竭し能はざるところなり、名物に城下鰯あり、又日本一を以つて誇る松屋寺の蘇鐵は天然記念物とし

て有名にて一日の清遊には恰好の場所なり。

【由布仙郷】 別府の西方四里、豐後富士の稱ある由布岳西麓の一大盆地にして海拔二千尺、温泉頗る豊富、風光明媚、盛夏尙晚秋の如き天下の好避暑地なり、別府より羊腸たる坂路を登り鳥居峠を越ゆれば途中廣漠たる鬼島原や神秘的なる猪ノ瀬戸等を過ぎ此の盆地に入れば其の雄大なる景觀は泰西の名畫も及ばず他所では味ひ得ぬ優麗崇高なる氣分を漂はせ居れり、巨木老松の鬱蒼として神さびたる六所權現、清泉湧出して境内閑寂なる若宮八幡社、金鱗湖、銀鱗湖等あり、殊に由布の朝霧は一大美觀たり。

【芝石溪流】 別府市街の北二里、龜川驛の西方約半里、谿潤幽邃の勝地にして附近に柴の化石の出づるに依りて一名柴石の稱あり、滾々たる溪流悉く靈泉、夏季石を枕に耳を傾くれば樹影風を啣んで蟬聲簫風と共に和して落つる快味は此の地獨特にして傍らに往昔 後朱雀帝の御宇、皇太子親仁親王の御湯治遊ばされしと傳ふる御枕石あり、此の地一帯春は櫻、夏は深緑、秋は紅葉によし、交通至便なり。

別府三勝

【内山溪谷】 別府の西方一里、別名扇山溪谷とも云ふ、扇山は鶴見岳の東北にあり明麗にして形扇に似たるにより其の名あり、山肩の南北缺けて一大溪谷を成し蜿蜒里余に亘り鶴見の大峰を天に仰ぎ懸崖數千尺莊嚴極りなく景勝中最も原始的にして溪流あり瀑布あり又温泉の湧出するあり、春

夏秋を通じて鶯の鳴くを聞くも面白く背後の山勢急峻なる中腹千古不蝕の大楓林あり、特に晩秋の美観は譬ふるにものなし。

【志高湖】 別府市街の西南二里、海拔二千尺の高原にあり其の周圍約一里、湖面鏡の如く四境閑寂恰も太古の如き感ありて全く紅塵を絶つ仙境なり、山布、鶴見の連峰水面に影を落し、春若草の萌え出づる頃緑の夢を擲けたる如き湖畔の芝生に臥牛點々たる好風景は實に一幅の名畫なり、附近には鶴見権現あり、別府アルプスの登山も此の邊より便利なり。

【佛崎公園】 別府より南一里半、大分に通ずる道路の中途にあり海邊には奇巖怪石磊々として相並び千古の縁を傳ふる「鶴の松」、「龜の松」は別府灣の碧波に靜に其の影を映す、山腹には無數の櫻樹あり園内到處所展望佳ならざる所なく此所より瞰下する別府灣の風光は近郊無比と稱せられ居れり特に夜櫻は其の名高く電車の便頻繁なり。

其の他の名所舊蹟

【別府公園】 本市の西端別府驛の西方約七丁、廣さ一萬六百十四坪、本市唯一の森林公園なり、公園入口右手には大分縣商品陳列所あり縣内の物産を陳列即賣せり。

【松原公園】 市の中央にある唯一の街路公園にして八幡朝見神社の御族所を中心に池と噴水とに配するに櫻樹を以てし春宵の散策に、夏の夜の納涼に好適なり、園内並に附近には劇場、活動寫眞常設館等あり。

【海門寺公園】 市の北部市街地にある、數百年を経たる老松を背景として山水を配したる純日本式閑靜なる庭園にして園内に百花百草を植へ、小動物舎、禽舎あり、市内唯一の小兒遊戯場なり、是と並びて曹洞宗の巨刹海門寺あり杖を曳く者多し。

【別府の大佛】 別府驛を距る西北十三町にあり、高さ約九十尺の釋迦像にして奈良の大佛より高き事約三十尺、拇指の周圍六尺八寸、東洋第一の稱あり。

【つゝじ園】 別府公園を距る西に五丁、全園つゝじを以て充たされ満開の頃、美觀言ひ様なし。

【山水園】 つゝじ園の西三丁、麻生太吉氏の所有に係り園内幽邃にして林泉の配置、亭樹の結構善美を盡せり、殊に満園數百株の櫻樹を植栽し花時には一般に公開し遊客の觀賞に委す。

【鶴見園】 鶴見ヶ丘にあり眺望絶佳、總面積五萬坪、各種の娛樂機關あり温泉、食堂、娛樂室休憩室、宴會場、家族湯等完備す、毎日午前余興午後歌劇等あり一日の享樂に適する遊園地なり。

【ケーブルカー】 別府港棧橋より西十七丁にあり、日本に於ける最短最急勾配のものたり、ケーブルを上れば乙原高臺の遊園地あり園内に食堂、娛樂室、余興場等あり一日の遊覽に適す。

【地球物理學研究所】 別府公園の西北九町にあり、赤煉瓦の近代式大建築にして敷地一萬五千坪京都帝國大學の附屬たり、温泉に關する基本的調査研究を試みつゝあり。

【滿鐵別府療養所】 別府市街を去る西に十六町、地積五千六百坪、風光の美に富む。

七 温泉案内

海の温泉！山の温泉！廣く別府温泉と云ふときは別府市、觀海寺、鐵輪、堀田、明礬、芝石、龜川、新別府、山布院、塚原の十湯、所謂横灘十湯を指すもので鶴見山を中心としたる方三里の地域の總稱である、之等の温泉は各々獨自の特徴を有し泉質は多種多様にして海に山に或は丘に年中絶え間なく隨所に湧出し、交通は至便に、氣候は溫和に、四時の風光亦頗る美麗なれば避暑に、遊覽に、療養に、人生の安息所、避難所として好適の地たり、然して此の一大温泉郷の首都は我が別府市にして浴場、旅館は勿論あらゆる娛樂機關、治療機關に至るまで一として備はらざるなく、理想的の温泉地として其の名は世界的に謳はれてゐる。

今市内に於ける主なる浴場を擧ぐれば次の如し

【海岸砂湯】 海濱一帯潮が退けば其の干潟には滾々として神代ながらの靈泉が泡立ちつゝ湧出してゐる其處を僅々五六寸掘り下げて身を横たへ、暖砂に埋まれば暫時にして全身自ら温り水平線の彼方に浮き出でたる四國の島々を寝ながらにして眺めつゝ、オゾンを満喫し、のたりのたりと寄せては返す波の音に必ずや無私の境に誘ひ込まれるであらう、現在市營の海岸砂湯は棧橋南側と北濱海岸とにあり、泉質は炭酸性鹽類泉にしてラヂウムを含むと言はれ、萬病に効き殊に神経痛、レウマチスには卓効あり。

【靈湖泉】 別府港棧橋の西側にある市營の大浴場にして建物は和風の宏壯なる平家建なり、男女各浴場共に各一個の泉浴と數個の臥湯及砂湯とを備ふ、泉質は炭酸性含鹽泉にして無色無臭なり

胃腸病(内用)慢性レウマチス(浴用)等に特効あるの外、筋肉疾患、咽喉諸症にも効能あり。尚同浴場の向側には名物蒸湯ありて男女湯の二室に分れ、腦病其の他諸病に卓効あり。

【竹瓦温泉】 別府港の西北一町余に在る木造二階建の市營大浴場なり階下を男女二湯に區切り各湯共に各一個の泉浴と數個の臥湯と砂湯とがあり階上は九十疊敷の大廣間にして入浴者の休憩に便す、泉質は炭酸性鹽類泉にして無色透明なり、神経痛、レウマチスに偉効ありて四六時中入浴者絶えず。

【楠温泉】 別府港の西南四丁にある市營の大浴場なり、男女各湯共に大なる浴槽一個を有す、泉質は炭酸性にして無色無臭なり、疝癰、筋肉疾患、惡瘡に奇効あり。

【不老泉】 別府驛の南方約三丁に在る和洋折衷の市營大浴場なり、階下は並湯、上等湯、瀧湯家族湯、蒸湯に分れ、二階は浴客休憩室、食堂に充てられ三階には展望台の設備あり、浴後此處に上れば別府市一圓を双眸の裡に收むることを得、泉質は炭酸泉、無色透明なり、神経系諸病(浴用)胃腸病(内用)に特効あり。

【濱脇温泉】 濱脇驛の北方三丁余に在る市營の大浴場なり建物は鉄筋混凝土の宏壯なる三階建にして濱脇の持つ唯一の共同温泉なり、階下は並湯、高等湯の二つに分れ高等湯は泉浴、蒸湯、砂湯に分れ並湯は男女湯共に三個の大泉浴と二個の砂湯及臥湯とある外、階上には家族湯、休憩室等あり、尚三階には宴會場の設備あり、屋上庭園は何人にも開放され散策に運動に或は浴後の納涼に便

す、泉質は鹽類泉にしてレウマチス神經痛に特効あり。

【田の湯温泉】 別府驛の西南四丁にある市營の浴場なり、木造二階建にて階上は休憩室、階下は浴場に充てらる、泉質は市内唯一硫黄泉にして肌觸り軟く諸瘡、皮膚病に神効あり。

此の外壽温泉、柳温泉、藥師温泉、梅園温泉、紙屋温泉、二條泉、春日温泉、朝見温泉、日の出温泉、末廣温泉、萬歳温泉、此花温泉、老松温泉、春山温泉、秋葉温泉、龍見温泉、的ヶ濱温泉等幾多の温泉浴場ありて多種多様、四百四病に夫れ／＼の特効を以つて居る。

市内に於ける一千三百有余の温泉孔より湧出する泉量は一晝夜實に十五萬石を超ゆ。

八 地 獄 巡 り

別府入湯の人々が旅の埃を落しもあえず、必ず行くものに地獄巡りあり、窪き地点より吹き掲ぐる熱湯、熱泥、熱氣の凄慘慘絶は徐ろに怪奇的の目を眩らせる。

今其の主なる地獄を擧ぐれば

【八幡地獄】 觀海寺温泉の西北六丁、別府より最も近き天然の地獄なり、灰色の熱泥は物凄き音響を伴ひて噴騰し飛び散り跳ね返し渦卷く様は觀覽者の心膽を寒からしむるに充分なり、左下側に熱泉を噴出する板地八幡地獄あり。

【鶴見地獄】 八幡地獄の入口右にあり、紺碧の熱湯沸騰し凄慘を極めたり。

【海地獄】 鐵輪温泉の西六丁、其の形狀は瓢箪の如く廣さ八十坪の碧綠高熱の一大熱湯池と小

壁を隔て、一千坪の澄明湖水の如き噴湯井とを併せ別府地獄中最大なるものにして一晝夜の湧出量は二萬石と云ふ、此の熱湯は閑靜にして眺望秀でたる新別府に送られ浴用に供せらる。

【坊主地獄】 海地獄の西六丁、灰色の熱泥が大小の坊主頭を成し沸騰し居れり、此處は普寺院のありし跡にし圓内坊と呼ぶ惡徳坊主が邪慳貪慾にして飽くことを知らず、佛罰觀面一夜にして寺は陥没し地獄となり現在沸き上りては崩れる熱泥の坊主は此の破戒僧の苦患焦熱の地獄に喘ぎもがきゐる様なりと傳ふ。

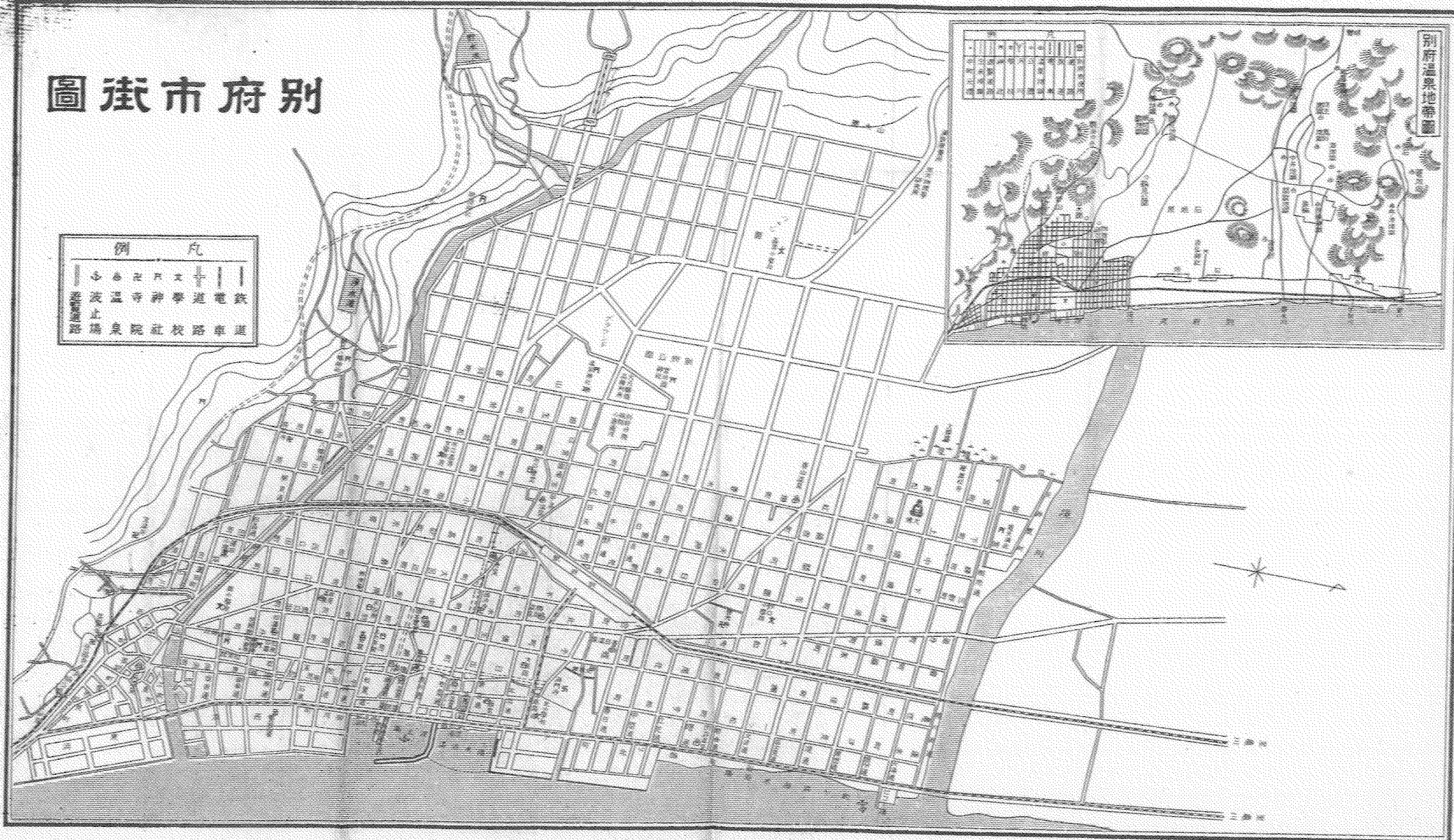
【紺屋地獄】 坊主地獄の西北七丁、明礬温泉の直下に大地獄、熱湯池全面紺色の波紋をつくつて煮え返り之に鶏卵を浸せば黒色に染つて煮えるも一奇觀なり。

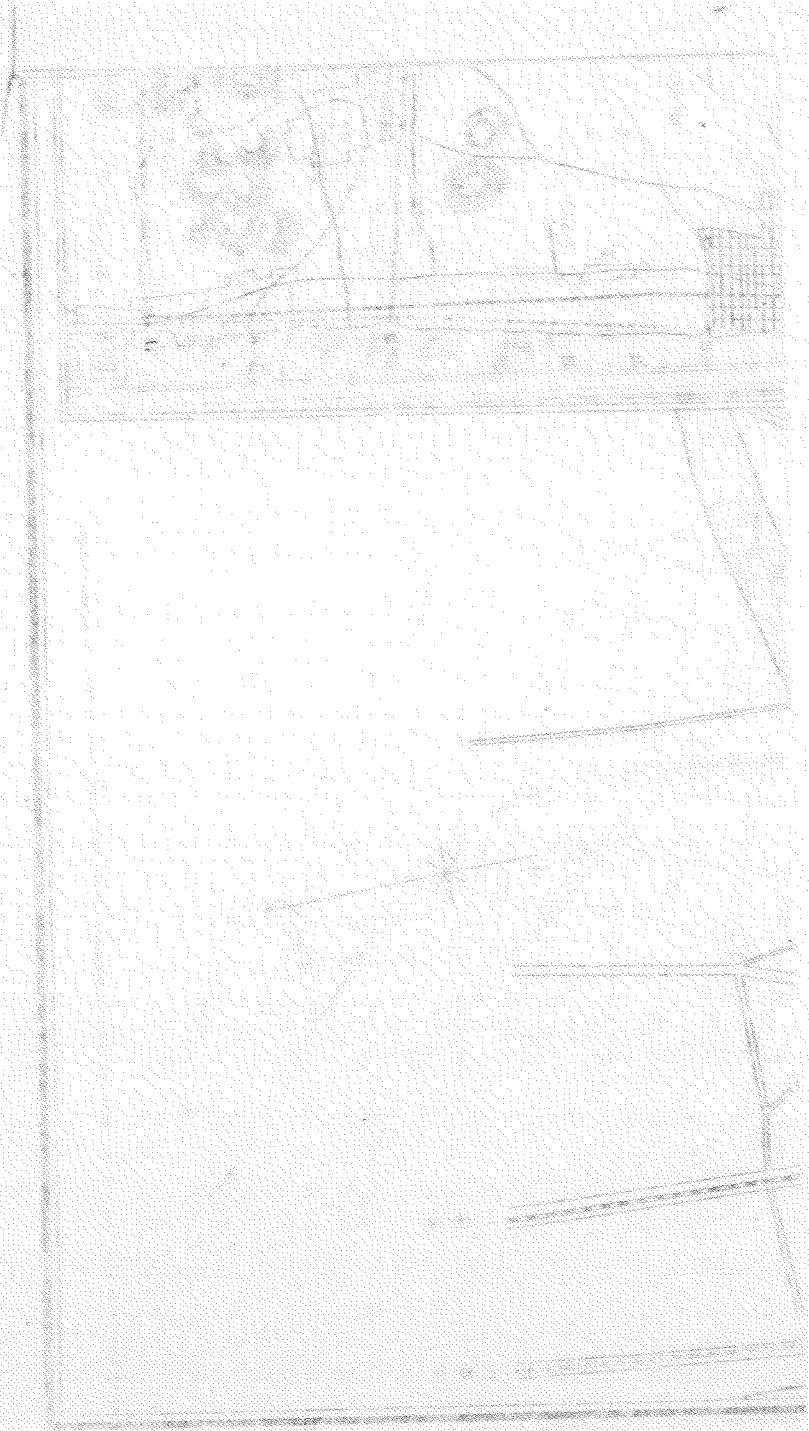
【かまど地獄】 芝石温泉の北一丁、入口には約千坪位の碧藍の色を湛え煮え返る熱湯地獄あり少し奥へ這入れば大石を疊みし竈型の熱氣地獄が物凄き音響をたてマツチに点火して地獄の白煙に觸れしむれば蒸氣は數倍の量に増し烈しく渦卷き上るを見る。

【血の池地獄】 龜川驛の西南十五丁、地獄の廣さ三百五十坪、全面朱紅色を帯び熱泉沸騰し時々赤泉噴出して數間の血柱立つと云ふ、地獄の熱泥を以て染めし「血の池染」及「血の池焼」を産す。

別府市街圖

例	凡
—	鐵道
—	電車路
—	學校
—	神社
—	寺
—	溫泉
—	止瀨
—	湯
—	泉
—	院
—	社
—	校
—	路
—	車
—	道





昭和六年六月二十五日印刷
昭和六年七月一日發行
【非賣品】

發行所 別府市役所

印刷者 玉田初平

印刷所 玉新社印刷所

別府市大字別府百三十四番地ノ十三